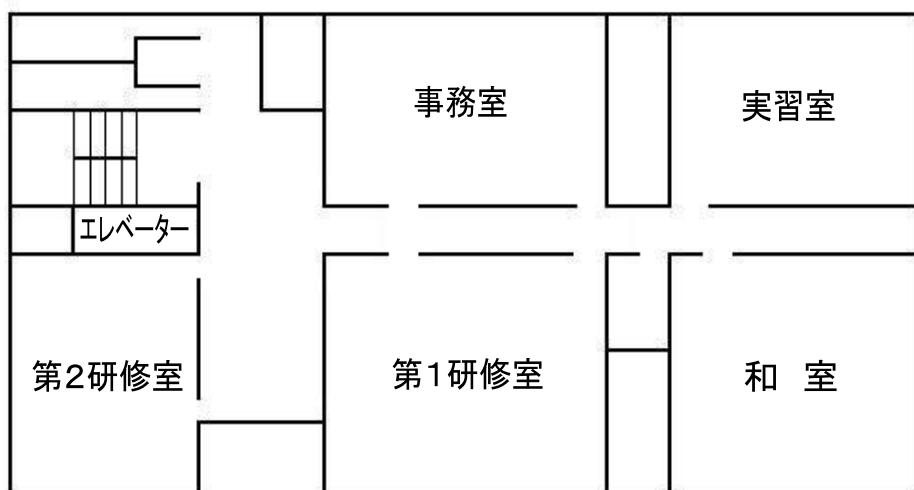
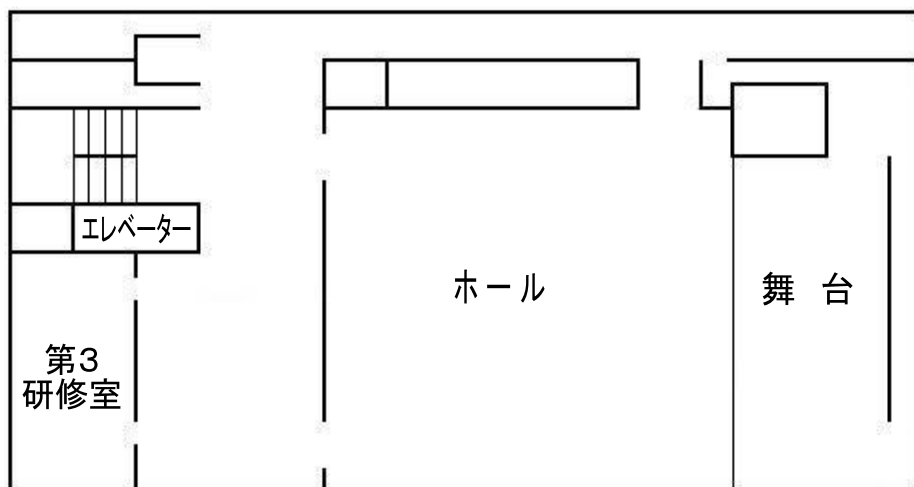


若 狭 公 民 館



〒900-0031 那覇市若狭 2-12-1
TEL 917-3446 FAX 869-8624

利 用 施 設 の ご 案 内



部屋名	利用可能人数	用 途 (備 品)
ホール	200～250 人	講演会・発表会・音楽会・展示会等 (ピアノ・イス等)
第1研修室	60 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
第2研修室	30 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル・電子ピアノ)
第3研修室	20 人程度	研修室・会議 (イス・テーブル)
実 習 室	20 人程度	調理実習・その他実習 (料理用器具等)
和 室	20～30 人 (12 畳×2)	お茶・生け花・着付け (茶道設備)

I 若狭公民館の沿革

旧若狭市場跡に完成した当施設は、国道58号線以西でははじめての文化施設である。平成元年4月に公民館・図書館建設用地として、用度管財課より教育委員会へ移管され、建設について地域住民、利用団体からの意見・要望を聴取し、平成3年6月22日工事着工、平成4年3月19日竣工した。

建物は若狭小学校、若狭公園に隣接し、1階は図書館、2・3階が公民館で地域住民の学習の場として誕生した。特に生涯学習に関する情報等を提供する事業として、パーソナルコンピューターと電話回線を利用したパソコン通信を県内の行政機関ではじめて導入した。

平成16年度より公募による非常勤館長を配置し、平成22年度より公民館業務の一部をNPO法人に委託している。平成27年度より指定管理者制度を導入し、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者となった。

平成3年11月1日	若狭公民館の発足に伴い、館長 高良繁が発令された。
平成4年6月2日	若狭公民館及び図書館の開館式が行われた。
6月3日	若狭公民館及び図書館が開館。
6月10日	利用団体サークル（32団体）への施設の提供が始まった。
8月4日	生涯学習情報提供事業「NAHAあけもどろネット」開局式が行われた。
平成5年3月5日	第1回若狭公民館まつりが開催された。
平成6年11月7日	若狭公民館利用団体連絡協議会が結成された。
平成7年4月1日	館長 高良繁配置替えにより、館長 宮良毅が発令された。
7月14日	社会教育優良施設として県教育委員会より表彰を受ける。
12月1日	多年に亘り優れた公民館活動が認められ、沖縄県公民館連絡協議会より表彰を受ける。
平成8年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増。
平成10年4月1日	館長 宮良毅配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
平成11年10月27日	第52回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成13年4月1日	館長 阿波連寛配置替えにより、館長 高里洋介が発令された。
平成16年4月1日	館長 高里洋介配置替えにより、館長（非常勤）山田民子が発令された。 非常勤館長配置に伴い、主査1増、公民館主事1減。
平成17年4月1日	社会教育指導員1減。
平成19年4月1日	館長（非常勤）山田民子任期満了により、館長（非常勤）宮城潤が発令された。
平成22年1月12日	第3回全国公民館ホームページコンクールで最優秀賞を受ける。
平成22年4月1日	館長（非常勤）宮城潤任期満了により、館長 津嘉山剛が発令された。
平成22年4月1日	業務の一部をNPO法人地域サポートわかさ（理事長 早川忠光）に委託された。
平成23年1月21日	第3回全国公民館報コンクールで『広報わかさ』が優秀賞を受ける。
平成23年4月1日	館長 津嘉山剛配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
12月13日	第4回全国公民館ホームページコンクールで最優秀賞を受ける。
平成24年4月1日	館長 平良恒次配置替えにより、館長 下地敏雄が発令された。
平成26年1月6日	第5回全国公民館ホームページコンクールで優秀賞を受ける。
4月1日	館長 下地敏雄配置替えにより、館長 平良恒次が発令された。
平成27年4月1日	指定管理者制度の導入により、NPO法人地域サポートわかさが指定管理者（理事長 早川忠光）となる。
平成28年1月8日	第1回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて最優秀賞を受ける。
平成28年12月21日	第6回全国公民館報コンクールにおいて『広報わかさ』が優良賞を受ける。
平成30年1月8日	第2回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて最優秀賞を受ける。
平成30年3月8日	第70回優良公民館（文部大臣表彰）において「最優秀館」に選ばれる。

平成30年12月13日	第7回全国公民館報コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和 2年 1 月	第3回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「最優秀賞」を受ける。
令和 3年 1 月	第8回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和 3年12月	第4回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。
令和 4年12月	第9回全国公民館報コンクールにおいて「銀賞」を受ける。
令和 6年 1 月	第5回全国公民館インターネット活用コンクールにおいて「金賞」を受ける。

Ⅱ 令和5年度若狭公民館事業目次

1	学習風景（写真）	81
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
	◇モザンビークってどんな国？	82
	◇南の島の南極教室2023	83
	◇ユーチュー部 in 多文化カフェ・わかさ	84
〔2〕	成人講座	
	◇やってみよう！楽しい防災イベント！～地域防災力向上と地域づくりのタネ～	85
	◇リッカ！ヤールーキャラバン！事前合同研修会	86
	◇ネパール献血者協会2周年記念“命を分かち合う献血”	87
〔3〕	健康講座	
	◇よるるんぼ	88
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
	◇喫茶むすぶ	89
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
	◇ダンボール部2023	90
	◇科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー「ホバークラフト」	91
〔2〕	青年講座	
	◇うみそら上映会実行委員会	92
〔3〕	放課後子ども教室	
	◇若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」	93
5	家庭教育事業	
〔2〕	乳幼児学級	
	◇子育てフォーラム「パートナー間の育児環境を考える」	94
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
	◇ネパール・ニューイヤー セレブレーション 2023/2080	95
	◇うみそら上映会 in 若狭海浜公園	96
	◇あけぼの・うみそら上映会	97
	◇第25回 若狭地域文化祭	98
	◇CGG年末美化清掃プラスONE	99
	◇新春もちつき大会	100
	◇リッカ！ヤールーキャラバン！in 曙公園	101
	◇なは防災キャンプ'23 春（那覇市立曙小学校）	102

◇なは防災キャンプ'23 夏（新都心銘苅市営住宅）	103
◇なは防災キャンプ'23 秋（那覇市立天妃小学校）	104
◇なは防災キャンプ'24 冬（なは市民協働プラザ）	105

〔2〕 提案事業

◇アート部2023	106
◇多文化カフェ・わかさ	107
◇無料英会話教室「ELIPO」	108
◇一品持ち寄り「朝食会」	109
◇公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業	110
◇ナジャさんとの歌とダンスのワークショップ	111

7 第31回 若狭公民館まつり 112

1. 学習風景



健康講座
よるるんぽ



少年講座
ダンボール部



市民講座
ユーチュー部 in 多文化カフェ・わかさ



高齢者学級
喫茶むすぶ



地域連携事業
なは防災キャンプ'23 夏(新都心銘苅市営住宅)



地域連携事業
うみそら上映会 in 若狭海浜公園

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

モザンビークってどんな国？

趣 旨：世界にはさまざまな生活や文化を持つ多様な人々が暮らしているが、遠い異国のことは自分ごととして捉えづらい。実際にその国で暮らす人から直接話を伺い、世界には多様な国や民族があることを知ることで、私たちの暮らしにおける多文化共生社会の実現につなげていく。

期 日：令和5年7月18日（火） 時 間：19:00～21:00

場 所：若狭公民館第1研修室 対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある人

受講料：無料 定 員：30人

申込人数：15人（うち受講決定人数15人）参加人数：29人

講師名：ナジャ（ミュージシャン）、榎本 恵（モザンビークの命をつなぐ会）

翁長 巳酉（美栄橋235企画）

協 力：モザンビークのいのちをつなぐ会、PungaPonga

★★ 学習プログラム ★★

プログラム	内 容
講 話	アフリカ・モザンビークの基礎情報、紛争後の避難生活と支援、マコンデ族の民俗文化、寺子屋の活動、モザンビークの人の心について、質疑応答
ラ イ ブ	民俗の言葉での弾き語りライブ、黒魔術の歌
展 示	モザンビークの写真、催事で利用する仮面



【参加者の声】

- ・馴染みのない国のリアルな状況や昔との違いなど、講師三人それぞれの視点からのお話が聞けてとても濃かったです。もっと聞きたい！と思いました。
- ・マコンデ族の教えの「人を一人にしてはいけない」という言葉がとても印象に残りました。
- ・ご飯が食べられなかった昔の方が、心があってよかったという言葉が印象的だった

【まとめ】

遠い国モザンビークのことを、そこで暮らす方から話を伺うことで、その国の抱える問題や生活を感じることができた。自分たちとは違う文化や生活様式、社会情勢、宗教なども、その存在をただ知っていることと、直接本人と出会うことには大きな違いがある。興味深いアフリカの民俗文化を知ることを入りに、紛争後、まだ避難所生活をしている人も多いモザンビークでの支援についても伺った。参加した方は、講師の生の声を聞き、その土地の音楽を聴き、モザンビークを身近に感じると共に、世界は多様性に溢れていることを実感することができた。

〔1〕 市民講座

南の島の南極教室2023

趣 旨：南極観測や観測隊員の生活などについて知ること、南極を身近に感じ環境保全に関心を持つようになる。また、地球規模の視野を持って思考し行動するきっかけとなることを目的とする。

期 日：令和5年12月10日（日）

時 間：13:00～15:00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、関心のある人

受 講 料：無料

定 員：50人 申込人数：52人（うち受講決定人数52人）

参加人数：47人

講 師 名：藪 伸児、馬場 壮太郎、大下 和久、春日井 一人、大吉 智也、宮城 寿之、渡邊 研太郎、河原 恭一

共 催：南極OB会沖縄支部

協 力：日本極地研究振興会・南極OB会

★★ 学習プログラム ★★

南極観測や現地での生活について観測隊OBによる講話を行い、南極からのオンライン通話を行う。

また、南極についてのクイズ・質問コーナーやパネル・グッズ展示などを通して南極についての関心を深める。



【参加者の声】

- ・実際に南極にいる隊員の方と話ができてとても充実した講座でした。盛りだくさんの内容でした。
- ・貴重な石に触ったり、シューズを履かせていただいたり体験ができたこと楽しかったです。
- ・子どもが学校以外で学びたい、と思えることが増えたと思います。
- ・南極に行くには内閣からの許可や多様な経験が必要だと思ったので、行けるように頑張りたい。
- ・南極は寒いと思われがちだったが、12月～2月ごろは北海道と同じぐらいで意外と温かいと思った。

【まとめ】

今回の南極教室は、会場にパネルや本物の隕石、鉱石などが展示され、観測隊OBによる講話やクイズなど、直接交流できて南極がより身近に感じる事ができた。また、南極から本物の氷も届き、実際に触ったり音を聞いたりして貴重な機会となった。さらに、南極にいる隊員と子どもたちがオンライン会話する時間を設けることができた。子どもたちが南極や地球に関して関心を持つきっかけとなった。南極OB会沖縄支部の全面協力により実現しているこの講座は、普段知る機会の少ない遠く未知の南極大陸について学ぶことができる貴重な講座である。観測隊の皆様に感謝すると同時に、沖縄県内でこの南極教室のことを広く紹介していきたい。

〔1〕 市民講座

ユーチュー部 in 多文化カフェ・わかさ

趣 旨：外国人の居場所事業「多文化カフェ・わかさ」の取り組みと連動した動画制作講座。在住外国人の生活目線でまちを紹介し、YouTubeで発信する。誰でも気軽に視聴できる動画を通じて、在住外国人の思いや視点に気づき、関係づくりの契機とすると同時に、グループワークで地域住民と外国人の交流を図り、多文化共生社会の実現に向けた一助となることを目的とする。

期 間：令和5年9月28日（木）～10月26日（木）全5回

時 間：19:00～21:00

場 所：若狭公民館第1研修室・第2研修室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、多文化カフェ利用者

受 講 料：無料

定 員：20人 申込人数：14人（うち受講決定人数14人） 参加延べ人数：74人

講 師 名：藤井 光（美術家、映像作家）

★★ 学習プログラム ★★

回数	実施日	内 容	参加人数
1	9月28日	撮影の基礎（画角について）・講評	23人
2	10月 5日	動画撮影のポイント（水平・画角）・講評	12人
3	10月12日	動画の編集方法（アプリの使い方）・講評	14人
4	10月19日	人物撮影と動画編集・講評	16人
5	10月26日	テーマ設定と撮影、編集・講評	9人



【参加者の声】

- ・動画撮影は水平を撮ることや編集が難しかったが、完成できたので嬉しい。今後も挑戦したい。
- ・いろいろな国の人とおしゃべりができ仲良くなれた。
- ・楽しく学ぶことができ、交流することもできた。今後も沖縄の動画を撮って発信していきたい。

【まとめ】

「多文化カフェ・わかさ」には、出身も属性も異なる多様な外国出身の方が参加しているが、「ユーチュー部」を開催したことにより、小学生や高校生、一般成人の方までさらにその輪は広がった。動画制作を通して、話し合い、協力して撮影することで、楽しみながら交流することができた。また、若狭地域文化祭の「若狭・魅力動画60秒動画コンテスト」応募を目標に掲げたことで、講座開催日以外にも撮影を行うなど、自発的主体的な取り組みを促すことができた。コンテストには複数の参加者が応募しており、うち3名が受賞した。副賞のランチ券を利用して参加者同士でランチ会を企画するなど、動画制作を通じて関係性が深まり、相互理解の機会となった。

〔2〕 成人講座

やってみよう！楽しい防災イベント！～地域防災力向上と地域づくりのタネ～

趣 旨：地震等の災害に備え、防災・減災に向けた取り組みとして世界中に広がっている『イザ！カエルキャラバン！』を企画開発した NPO 法人プラスアーツ理事長の永田宏和氏をお招きして、楽しく参加できる防災イベントの作り方を学ぶ。

期 日：令和5年5月30日（火）

時 間：18：30～20：00

場 所：なは市民活動支援センター第1会議室

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、関心のある人

受 講 料：無料

定 員：50人

申込人数：19人（うち受講決定人数19人）

参加人数：23人

講 師 名：永田 宏和（NPO 法人プラスアーツ理事長）

★★ 学習プログラム ★★

『イザ！カエルキャラバン！』を開発したキッカケから、今までの活動実績などをお話していただき、楽しい防災イベントの作り方を教えてもらう。



【参加者の声】

- ・カエルキャラバン、ヤルルーキャラバンのことは少し知っていましたが、時代に沿って、それぞれの地域で進化していることや、中高生を巻き込み、多世代が学び合える取り組みであることを学べてよかったです。
- ・地域で誰がではなく、自分から動いてみようと思いました。
- ・楽しい、ワクワクがあるものから学びにつなげることのポイントを知れた。

【まとめ】

講話では、「不完全プランニング」と「+クリエイティブ」の概要と企画作りのポイント、プラス・アーツが関わっている防災プログラム、コロナ禍でのイベント開催における試行錯誤の話、全国に広がるイベント作りのコツを学んだ。企業の巻き込み方や楽しい防災イベントに対する反対意見にどう対応していくかなど、背景が異なる地域での開催する際の参考になった。対面とオンラインのハイブリッド開催で県内外の多くの参加者に永田氏の講話を届けることができた。

〔2〕成人講座

リッカ！ヤールーキャラバン！事前合同研修会

趣 旨：防災・減災に役立つ知識を楽しく学ぶことで、災害に対する意識啓発を行うとともに多世代が交流できる防災イベントの事前研修会を行う。各まちづくり協議会対象に広く呼びかけ、地域内外の人的交流を促すと同時に防災に関するプラットフォーム構築を目的とする。

期 日：令和5年7月1日（土）

時 間：14：00～17：00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：各小学校区まちづくり協議会・関心のある人

受 講 料：無料

定 員：なし

申込人数：34人（うち受講決定人数34人）

参加人数：34人

講 師 名：なし

★★ 学習プログラム ★★

参加者が「リッカ！ヤールーキャラバン！」の趣旨を理解し、実際に複数の防災訓練プログラムをゲーム感覚で楽しく体験することで、防災・減災に関する知識を身につける。



【参加者の声】

- ・実際にどのようなことを取り組み、焦点をどこに置く必要があるのかが分かりやすく、また、プログラム1つ1つも声掛けや実際デモンストレーションを見学することでイメージしやすかった。
- ・どこから取り組んでいいのか、準備にどのようなものが必要なのか、自分たちで取り組むためには何から始める必要があるかがわかった。

【まとめ】

校区まちづくり協議会や PTCA、地域の民生委員などが地域づくりのキッカケとして、楽しい防災イベントの開催方法を学ぶために参加した。リッカ！ヤールーキャラバン！の仕掛けやコツを学び、実際にプログラムを体験したことにより、より具体的に開催までの流れを共有することができた。地域の代表者からの問い合わせもあり、今後は地域防災能力の向上を目指してイベントを開催しながら、地域の基盤作りのサポートをしていきたい。

【2】成人講座

ネパール献血者協会2周年記念 “命を分かち合う献血”

趣 旨：ネパール献血者協会設立2周年を記念して献血の重要性、必要性などを伝える活動報告会とグループディスカッション、前日には献血啓発運動を開催する。国籍を超えて助け合い、共生する地域社会を目指し、課題に対して共に取り組む。公民館に関わることで広く周知する。また、献血という命を分け合う取り組みの大切さについて知り、活動を広げることで人権尊重できる社会を目指す。

期 日：学習プログラム参照

時 間：学習プログラム参照

場 所：若狭公民館第1研修室、パレットくもじ前交通広場

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人、興味関心のある人

受講料：無料

定 員：なし 申込人数：35人（うち受講決定人数35人） 参加延べ人数：35人

主 催：ネパール献血者協会

共 催：那覇市若狭公民館

協 力：沖縄県赤十字血液センター、多文化ネットワーク fu ふ！沖縄、ONFA（沖縄ネパール友好協会）、那覇市社会福祉協議会（那覇市ボランティア・市民活動センター）、沖縄 NGO センター

★★ 学習プログラム ★★

期日	場所	内 容	参加人数
6月13日 17:30～18:30	パレットくもじ	・献血啓発運動 ・献血啓発ポスターをもって呼びかけ	15人
6月14日 17:30～18:30	若狭公民館 第1研修室	・1年間の活動を報告 ・グループディスカッション	20人



【参加者の声】

- ・言葉の壁は案外低いかもしれない。
- ・赤十字の職員の方の意見が聞けてよかった。
- ・ネパール献血者協会の皆さんが日本人のために一生懸命活動していて、イベントも工夫して企画した様子がわかり、日本人である私たちも何か行動をおこせたらと思った。
- ・英語の表記などができれば良いが、ひとつの県の意見で本社を動かすことは難しい

（沖縄県赤十字血液センター）

【まとめ】

ネパール献血者協会は、この1年間で東京、福岡、大分、神奈川、千葉、大阪、埼玉、愛知の8県で献血をおこなった。SNSで、その土地で暮らすネパール人に呼びかけて仲間を増やしながら献血することで、活動の輪を広げている。1年前の報告会で、「日本全県で献血をし、活動を広める」という目標を掲げ、その目標に向かって活動しつづける彼らの報告に、会場に集まった関係者や地域住民は刺激を受けた。グループディスカッションでは、外国人が献血をしやすくする為にはどうしたらよいか、自分たちにどんなことができそうか等について関係者で話し合った。お互いに意見交換し、思いを伝え合うだけでなく、今後の活動がしやすくなるような関係をつくることができた。今後も出来る限りサポートし、国籍を超えて共生する地域社会の実現に向けて共に課題に取り組んでいきたい。

〔3〕 健康講座

よるるんぽ

趣 旨：歩く習慣をつけることにより日頃の運動不足と生活習慣病の予防と改善に心がける。健康づくり・脂肪燃焼・睡眠改善に効果のあるウォーキングを仲間と共に、どこまでもいつまでも歩ける身体を目指す。今年度11月12日開催予定の「ひやみかちなはウォーク」に参加することを目標とする。

期 間：令和5年10月10日（火）～10月31日（火）全4回

時 間：18：30～20：00

場 所：若狭公民館ホール・若狭海浜公園および周辺地域

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人

受 講 料：無料（但し、保険料200円は自己負担）

定 員：20人 申込人数：19人（うち受講決定人数19人） 参加延べ人数：44人

講 師 名：堀川 恭登

★★ 学習プログラム ★★

運動前ストレッチ→ウォーキング→運動後ストレッチという流れを基本に正しいウォーキング法を学ぶ。毎回違うコースにチャレンジする。

回数	実施日	内 容	参加人数
1	10月10日（火）	開講式 座学、ウォーキングの基本と正しい歩き方 ストレッチの方法（公民館ホール）	10人
2	10月17日（火）	ウォーキングのコツと実践ウォーキング （若狭海浜公園）	14人
3	10月24日（火）	靴の履き方とウォーキングの実践。筋肉の鍛え方 （若狭海浜公園）	8人
4	10月31日（火）	ウォーキングの楽しさを知る。街を歩いてみよう。 （公民館～福州園～パレットくもじ～折り返し）閉講式	12人



【参加者の声】

- ・体の動かし方、歩き方を教わり続けることが大切だと学んだ。
- ・仲間ができ、多勢の皆さんと行動できる楽しさを知った。
- ・4回と言わず半年位続けていただきたい。また参加したい。

【まとめ】

歩く習慣を身につけ健康でより良い日常を送ることを目的とした講座。正しい歩き方からウォーキングのコツ、栄養や生活習慣との相乗効果を学び健康意識を高める講座となった。また、魅力的な講師に参加者が毎回笑顔になりコミュニケーションを高め「ひやみかちなはウォーク」への参加にも繋がった。講座継続の要望もいただき健康づくりを意識するきっかけとなった。

3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級

喫茶むすぶ

趣 旨： シニア世代の健康寿命の延伸が重要となっている昨今、社会参加が認知症の予防や生き甲斐づくりに最も有効であるといわれている。そこで、喫茶機能と学びをかけあわせた参加者の交流に重点を置いた学び合いの場を創出する。

期 間： 令和5年5月17日～令和6年3月15日の第1、3金曜日 全18回

時 間： 14:00～15:30

場 所： 若狭公民館第1研修室、和室

対 象： 那覇市在住・在勤・在学で65歳以上の人

受講料： 無料（但し、実費負担あり）

定 員： 20人（うち受講決定人数20人）

参加延べ人数：180人

協 力： 那覇市地域包括支援センター若狭、那覇市シルバー人材センター、明治安田生命保険相互会社
第一生命保険株式会社

★★ 学習プログラム ★★

回数	実施日	内 容	講 師	人数
第1回	5月19日	日本の伝統文化にふれる	山田民子（茶道裏千家 淡交会）金城智子	15人
第2回	6月16日	『ボイストレーニング』	ハルコニー（音楽家）	19人
第3回	7月 7日			15人
第4回	7月21日	快適な夏の過ごし方	那覇市地域包括支援センター若狭	12人
第5回	8月18日	お盆にまつわるお話	賀数仁然（琉球歴史研究所）	13人
第6回	9月15日	『ライフサイクルゲーム』	赤堀由美子、照喜名清美（第一生命保険会社）	10人
第7回	10月6日	趣味の秋	佐藤純子（若狭公民館職員）	8人
第8回	10月20日	趣味の秋(折り紙)	角田康子（むすぶ参加者）	8人
第9回	11月15日	スマホレッスン会	房前三男（那覇市シルバー人材センター）	8人
第10回	11月16日			8人
第11回	11月17日			10人
第12回	12月 1日	『大切な方への絆ノート』	第一生命保険株式会社	9人
第13回	12月15日	お正月飾りをつくろう	角田康子（むすぶ参加者）	8人
第14回	1月19日	新年を祝う初釜体験	山田民子（茶道裏千家 淡交会）、大城美佐子（助手）	8人
第15回	2月 2日	かごを編んでみよう	佐藤純子（若狭公民館職員）	5人
第16回	2月16日	バルーン講座	仲宗根麗（バルーンアーティスト）	7人
第17回	3月 1日	睡眠と健康の知恵袋	明治安田生命保険相互会社	8人
第18回	3月15日			9人

【参加者の声】

お茶をいただきおしゃべりできて楽しかった。また、毎回違うテーマで学びがあった事もよかった。

【まとめ】

お茶菓子を一緒にいただくことで会話が弾み、各回テーマを掲げ学び合う場となった。また、特技や趣味を紹介しあう時間をつくり、参加者が特技を教えるなど活躍の場も設けた。継続して開催することで自発的に準備や片付けを手伝う姿もみられた。グループの中でリーダー的役割がうまれ、次年度は、参加者が主体的にかかわる居場所として継続して実施することになった。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

ダンボール部2023

趣 旨：小学校高学年・中学生向けに、アートを通した「流通」と「消費」の循環する社会を学ぶ講座を開催。廃ダンボールを分解して身近なものをつくることを通して、資源やSDGsについて考える機会となるとともに、モノづくりの楽しさを学ぶ。

期 日：令和5年8月9日（水）

時 間：13:00～16:00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学校4年生から中学生

受 講 料：無料

定 員：30人 申込人数：21人（うち受講決定人数21人） 参加人数：25人（うち保護者4人）

講 師 名：儀間 朝龍（アーティスト）

★★ 学習プログラム ★★

- ・材料集め（近隣の商店でダンボールをもらう）
- ・ダンボールで紙をつくる（ダンボールをもらう→カットする→水につける→分解する→乾かす）
- ・ノートをつくる（紙を選ぶ→大きさを揃える→ホッチキスでとめる→半分に折る）
- ・シールをつくる（紙を選ぶ→おおまかに切る→裏から両面テープをはる→シールの形に切る）
- ・レターセットをつくる（型に合わせて切る→定規を使って折る→ノリで止める）



【参加者の声】

- ・自分が好きなものがつくれて楽しかった。
- ・自分で作った作品を使えるのがうれしい。
- ・リサイクルについて考えるきっかけになった。
- ・ダンボールで紙がつくれることがわかったので、紙をつくって絵をかきたい。
- ・先生の作品のような「くつ」も作ってみたい。

【まとめ】

3時間の長丁場だったが、集中してたくさんの作品をつくることができた。地域の商店で材料となるダンボールをもらうところからはじまり、ダンボールを分解してノートやシールを作成した。捨てる予定のダンボールを分解すると紙ができることで驚きと喜びを感じることができた。自分たちが普段は購入しているノートやシールなどは工夫次第で作ることができることを知り、ものづくりを身近に感じることもできた。資源の再利用の体験はSDGsの12, 13, 15番に係る活動だ。今回の体験は、SDGsを体感し考えるよい機会となった。今後もこういった学びの機会を創出していきたい。

〔1〕 少年教室

科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー「ホバークラフト」

趣 旨：次世代を担う子どもたちを対象に、「モノづくりの大切さ」や「科学の楽しさ」を伝え、科学技術に対する興味や夢を育むことを目的に開催。

期 間：令和5年10月8日

時 間：18:30～20:00

場 所：若狭公民館ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学校4年生から6年生

受 講 料：無料

定 員：50人 申込人数：36人 参加人数：27人

講 師：トヨタ技術会有志メンバー

★★ 学習プログラム ★★

	工程	内 容	材料
1	実験1	身近なものでホバークラフトの仕組みを学ぶ	下敷き、風船
2	実験2	空気を送りつづける仕組みを応用して 100キロのものを運べるようにする	ダンボール 掃除機
3	工作	圧縮した空気で浮きながら走る高速船ホバークラフトの工作	ウレタンマット ビニール、モーター
4	競争	作った工作で競争	



【参加者の声】

- ・作るのはむずかしかったけど、理科の実験みたいで面白かった。
- ・まっすぐ動きにくいホバークラフトを真っ直ぐ動かすことができとても嬉しかった。
- ・知らないことがいっぱい知れてうれしかった。
- ・先生がとてもやさしく、わかりやすく教えてくれて、もっと工作がしたくなりました。

【まとめ】

浮いて走る高速船の仕組みについて学習したあと、モーターを活用したホバークラフトの工作をした。下敷きや風船などの身近なものを使った実験で、ワクワクした気持ちで工作に挑んでいた。模型車をまっすぐに走らせるためには、モーターの位置を調整しながら、何度も試行錯誤した。また、空気がもれないようにしっかり丁寧に工作した。モノづくりは、アイデアと工夫だけでなく、丁寧さも必要だという技術的なポイントと面白さを学ぶことができた。日常にあるちょっとしたことからアイデアが生まれ、モノづくりにつながっていく過程を体感できた。科学技術は意外に身近にあるもので、工夫やがんばり次第で夢や目標に近づけるのではないかと感じる事ができる講座となった。

〔2〕 青年講座

うみそら上映会実行委員会

趣 旨：有志により結成された実行委員会によって、上映内容や方法を企画立案し、地域や世代を超えた幅広い方々に参加してもらい地域交流・情報交換の場をつくることを目的とする。

期 日：令和5年5月9日（火）～令和6年3月22日（火）

時 間：19：30～20：30

場 所：若狭公民館・会議アプリ ZOOM 対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある人

受講料：無料 定 員：なし 申込人数：18人

参加延べ人数：97人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	5月 9日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容等）	5人
2	6月 5日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容、役割確認）	4人
3	6月16日（金）	6月上映会（受付、誘導、照明、機材準備）	18人
4	7月 4日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容、役割確認）	5人
5	7月21日（金）	7月上映会（受付、誘導、照明、機材準備）	5人
6	8月 3日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容、役割確認）	7人
7	8月18日（金）	8月上映会（受付、誘導、照明、機材準備）	5人
8	9月 5日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容、役割確認）	6人
9	9月14日（木）	上映会にむけて（上映内容確認、インタビュー内容作成）	3人
10	9月15日（金）	9月上映会（受付、誘導、照明、機材準備）	18人
11	10月 3日（火）	上映会にむけて（広報、上映内容、役割確認）	2人
12	10月20日（金）	10月上映会（受付、誘導、照明、機材準備）	6人
13	12月23日（土）	松川小学校クリスマス上映会（機材準備）	4人
14	3月22日（金）	次年度に向けて	3人



【参加者の声】

- ・とてもいい経験になりました！初めて参加した際にスタッフの方たちが優しく指導してくれたおかげで楽しく、精一杯頑張ることができました。また機会があれば参加したい限りです。
- ・ボランティアとして、その素晴らしい雰囲気共有し、イベントを円滑に進行させる役割を果たすことができ、それがとても満足感をもたらしました。

【まとめ】

今年度は、うみそら上映会のプログラムに映画以外の演目を加えるアイデアがあり、さどやんの紙芝居が新しく加わった。高校生ボランティアの会議の参加率が高く、広報の仕方や運営の方法など多世代の持つ異なる視点で話し合いが行われた。今後、より楽しい会議、よりやりがいのあるイベント作りができるような取り組みにしていきたい。

〔３〕 放課後子ども教室

若狭公民館放課後子ども教室「若狭ちむどんどん太鼓」

趣 旨：子どもたちの安心安全な放課後の居場所づくりを兼ねて、エイサーをとおして郷土の文化・芸能にふれる機会を創出する。また、公民館利用団体として関連行事に参加することで地域の一員としての自覚を持ち地域づくりに主体的に参画する人材になることを目的とする。

期 間：令和5年4月1日～令和6年3月31日 毎週 月、金曜日

時 間：17：30～19：30

場 所：若狭公民館第1研修室・ホール

対 象：那覇市在住・在学の幼児～高校生

受講料：無料

登録児童：15人

参加延べ人数：816人

指導者：岸本 麗子（若狭1丁目自治会会長・若狭小学校区まちづくり協議会子ども育成部長）

リーダー：上原 愛

★★ 学習プログラム ★★

月	回数	イベント名	参加延べ人数	月	回数	イベント名	参加延べ人数
4月	9	波の上ビーチびらき ネパールニューイヤーパーティー	63人	11月	8	若狭地域文化祭 天妃っ子まつり	69人
5月	9	なんみん祭	62人	12月	5	クリスマス会	58人
6月	8	エイサー練習のみ	51人	1月	9	新春もちつき大会	75人
7月	8	なは青年祭	71人				
8月	6	高齢者デイサービス 訪問	41人	2月	10	若狭公民館まつり	86人
9月	10	自治会の敬老会	76人				
10月	7	エイサー練習のみ	41人	3月	10	じゅり馬まつり ジュニアジャズオーケ ストラゲスト発表会に ゲスト出演	123人



【まとめ】

新しいメンバーも増え活気が出てきた。また、祭りなどの地域行事が復活し毎月のように発表する場があったことで練習にも力が入った。演舞のほかに司会を務めるなど地域行事に参画する機会もできた。

5 家庭教育事業

〔2〕 乳幼児学級

子育てフォーラム「パートナー間の育児環境を考える」

趣 旨：子どもが生まれると、家庭内の役割分担や職場との調整など生活環境に変化が起こる。この変化に対して、不安や悩みを抱える保護者は多い。新生児を迎える親に対して、子を育てていくのに必要な情報や育児方法の参考となる講座を実施する。

期 日：令和6年3月2日（土） 時 間：14:00～16:00

場 所：会議アプリZOOM（収録場所：なは市民協働支援センター会議室2）

対 象：新生児を迎える方、子育てに関心のある方

受講料：無料 定 員：なし 申込人数：28人（うち受講決定人数28人） 参加延べ人数：20人

講師名：中江 房子（アンガーマネジメントファシリテーター）

高野 大秋（那覇市社会福祉協議会 福祉施設課 課長）

金城 桃子（ファシリテーター）

※（新垣翔吾（ショウゴベビーシッター施設長）は、体調不良によりお休み。）

★★ 学習プログラム ★★

①主催者あいさつ〔3分〕

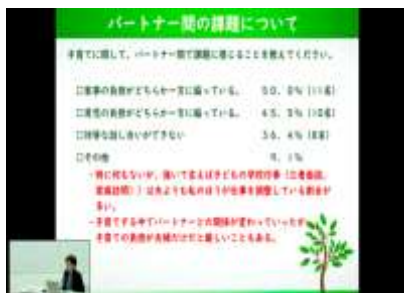
②パネリストの紹介（金城 桃子 氏）〔2分〕

③第1部「講演会」〔60分〕 「子育てに起こるストレスについて」（講師：中江 房子）

「地域からみる子育てについて」（講師：高野 大秋）

④第2部「育児環境について考える」（パネルディスカッション）〔30分〕

（登壇者：中江 房子、高野 大秋、金城 桃子）



【参加者の声】

- ・子育てで一般的なアンガーマネジメントは通用しないよね、というコメントにホッとしました。
- ・ふむふむと関心したり、お腹を抱えて笑ったりあっという間に終わってしまうほど充実した講座でした。

【まとめ】

オンライン開催したことで、子連れで外出が難しい方も参加する事ができた。第1部の講演会では、講師ご自身の子育て経験も交えて、行政の取り組みや子育てのストレス緩和についてなどお話しした。第2部のパネルディスカッションは、育児環境をテーマに、事前アンケートでとったパートナー間の協力体制や子育ての悩みなどを共有しながらどのように解決していくか話し合った。参加者の中には、新生児を向かえる方や子育て中以外の方で、おばあちゃんにもうすぐなる方も参加しており、子育てがどんな雰囲気か思い出すキッカケになった声もあった。わが子、わが孫をどのように協力して育てていくか考える場になった。

6 その他の事業

〔1〕地域連携事業

ネパール・ニューイヤー セレブレーション 2023/2080

趣 旨：近年ネパール人留学生の増加に伴い、文化の違いや公共空間での規範意識の違い等から地域住民とトラブルが起こる場合がある。ネパール人と地域住民とが互いに住みよくあるために、交流イベントを通して相互理解を図る。2023年の4月15日がネパール（ビクラム歴）のお正月にあたるため、ネパール料理や民族衣装の試着、文化紹介や演舞を一緒に楽しんで、新年を祝いながら互いの交流を深める。

期 日：令和5年4月15日（土） 時 間：14：00～18：00 場 所：若狭公民館ホール
対 象：関心のある人 受講料：無料 参加延べ人数：200人 共 催：沖縄ネパール友好協会（ONFA）

★★ 学習プログラム ★★

会 場：ドリンク販売（ラッシー、チャイ）、雑貨販売（NPO 法人エデンプロジェクト）、民族衣装試着コーナー、チョータラブース（ミティラートの展示・壁画体験・ぬりえ等）
舞台プログラム：歌・ダンス（ネパール留学生）、ネパールサーランギ演奏、若狭松山次旗頭、創作エイサー（若狭ちむどんどん太鼓）、ネパール・沖縄の文化紹介（高校生）ほか



【参加者の声】

このような創造的な機会に参加させていただき、皆様の協力にも感謝します。日本人と一緒に参加する喜びを、家族にも言ったらすごく褒められました。日本の新聞やテレビでも放送されたことでもっと嬉しくなって、やる気がでました。また今度も何かイベントに参加できるなら最善を尽くします。

【まとめ】

イベント実施にあたり、ネパール人留学生と地域住民からボランティアスタッフを募り、事前ミーティングを重ね、企画から当日の準備・運営まで関わってもらった。スタッフ間の交流を図り、当日は多くのボランティアスタッフの協力で楽しみながらイベントを開催することができた。ネパールと沖縄の舞台演舞や参加者同士の交流を目的としたオンラインクイズ「カフト」では、在沖ネパール人と地域住民がグループでクイズに参加し、交流を深めた。ネパール人のエイサー演舞や旗頭体験、日本人ミュージシャンによるネパールの伝統楽器演奏など、文化交流も楽しんだ。その他、会場内にはネパールアート体験や、民族衣装の試着体験、楽器体験、チャイの販売など、ネパールを知ることができるブースの出店があり、来場者同士が交流を深めながら異文化を理解し合うことができた。イベントに理解を示す協力者が増えていることを実感できた。今後さらに交流を深めながらさまざまな場面で協力していきたい。

〔1〕 地域連携事業

うみそら上映会 in 若狭海浜公園

趣 旨：有志による実行委員会で企画立案した野外上映会を、地域の多様な機関・団体と連携・協働して開催する。誰もが利用できる公園で実施することにより、近隣住民はもとより、地域や世代を超えて幅広く参加してもらうことで交流人口を増やし、幅広い交流・情報交換の場となることを目的とする。また、来場者やボランティアの意見を反映させ、回を重ねることにより充実した事業をつくり上げることで、上映会を地域全体で育てる実感を共有できるようにする。

期 間：令和5年6月16日（金）～10月20日（金）全5回

時 間：学習プログラム参照

場 所：若狭海浜公園

対 象：どなたでも 受講料：無料 定 員：なし

申込人数：760人（うち受講決定人数760人） 参加延べ人数：760人

★★ 学習プログラム ★★

Vol	日 程	内 容（映画・紙芝居/16mmフィルムアニメ/懐かしの8mmフィルム映像）	参加人数
1	6月16日（金） 19:00～20:00	演じる女/ミッキーマウスのキャンピングカー/ひめゆりの塔/ その他ブース（チョークで遊ぼうコーナー、駄菓子屋）	103人
2	7月21日（金） 19:00～20:30	こんな、菊灯りの夜に/ミッキーマウスのバンドコンサート/海開きだよ全 員集合/その他ブース（チョークで遊ぼうコーナー、駄菓子屋）	203人
3	8月18日（金） 18:30～20:00	さどやんのうちな一かみしばいSHOW!/花さき山/若狭の風景/ その他ブース（チョークで遊ぼうコーナー、駄菓子屋）	172人
4	9月15日（金） 19:00～20:30	島の時間/プルートとカメのおくりもの/若狭、曙の風景/ その他ブース（チョークで遊ぼうコーナー、駄菓子屋）	153人
5	10月20日（金） 19:00～20:30	さどやんのうちな一かみしばいSHOW!/きこりのドナルド/大綱挽特 集/その他ブース（チョークで遊ぼうコーナー、駄菓子屋）	130人

※Vol.2以降は開場時間（30分）を設けた。開催時間は1時間30分としている。



【参加者の声】

- ・大人も息抜きになりました。小さい駄菓子屋も栄養が考えられて満足！
- ・地域の温かさやうちな一ぐち紙芝居、昔話、なつかしの風景を見れたり沖縄のことにも触れられた。
- ・駄菓子屋や、チョークで遊ぶコーナーがあり、子どもが楽しんでいた。紙芝居も楽しかった。

【まとめ】

今年度は、全日程快晴で野外での開催となった。Vol.2以降は、開場時間を暗くなる前に設定したところ友人や家族とお話しながら待つ参加者や「チョークで遊ぼう」を目的にきた子どもがいた。今年度新たなプログラムに紙芝居を組み入れた結果、子どもから大人まで喜んで鑑賞していた。運営面では、小学生による司会進行、中学生を中心とした駄菓子屋、高校生ボランティア団体による舞台運営があり、子どもたちの活躍する場がみられた。今後も、うみそら上映会を通して地域の和が生まれるような取り組みを考えていきたい。

〔1〕地域連携事業

あけぼの・うみそら上映会

趣 旨：曙小学校区まちづくり協議会との協働によって、通常は若狭海浜公園で実施している「うみそら上映会」を曙小学校で開催する。曙小学校及びPTCAの協力を得ながら、児童の体験の機会を作る。幅広い世代の方々に参加してもらい情報交換の場とする。

期 日：令和5年9月16日（土）

時 間：19：00～20：00

場 所：那覇市立曙小学校体育館（雨天により変更）

対 象：曙小学校区住民

参 加 費：無料

定 員：なし

申込人数：52人（うち受講決定人数52人）

参加人数：52人

★★ 学習プログラム ★★

沖縄を舞台にした短編映画、アニメーション16mmフィルム、沖縄アーカイブ研究所所蔵の8mmフィルム地域映像を上映する。

- ・短編映画：「選ばれた男」
- ・16mmフィルムアニメ：「ミッキーマウスのバンドコンサート」
- ・懐かしの8mmフィルム映像：曙地区周辺



【参加者の声】

- ・また曙で開催してほしい。
- ・曙地域で多世代交流ができてよかった。

【まとめ】

曙小学校区まちづくり協議会と共催で、あけぼの・うみそら上映会を開催した。曙小学校とPTCAの協力のもと、地域交流・世代交流を行い、老若男女の参加があった。幅広い世代に楽しんでもらうため、16mmアニメーションや昔の映像を取り入れ、最後まで飽きさせないプログラム作りを工夫した。児童の野外上映会を体験するきっかけともなり、保護者からも「次年度も協力して開催していきたい」との声をいただいた。今後も、うみそら上映会やリッカ！ヤールーキャラバン！など曙地域の方々と連携しながら活動の幅を広げていきたい。

〔1〕 地域連携事業

第25回 若狭地域文化祭

趣 旨：地域住民が主体となり、多様な機関団体と協働して若狭地域文化祭をつくり上げることを通して、未来を担う青少年が地域に誇りと愛着を持つ学びの機会とするとともに、多世代が生きがいを感じられる場を創出する。また、琉球王朝時代より海の玄関口として海外との交易を担ってきた歴史的経緯も鑑み、異文化交流にも取り組み多文化共生社会の実現に寄与するよう努める。

日 時：令和5年11月11日（土） 12:00～17:00

場 所：若狭海浜公園 参加延べ人数：1280人 主 催：NPO法人地域サポートわかさ

★★ 学習プログラム ★★

映像上映	懐かしの地域映像（沖縄アーカイブ研究所）、若狭魅力・60秒動画コンテスト入賞作品、地域団体紹介動画（包括支援センター若狭、地球ハートクラブ、若狭・松山旗頭実行委員会、那覇第二民児協、若狭ちむどん太鼓、若勝V.B.、みみの木）
演舞	ジュニアジャズオーケストラおきなわ、あゆみ幼児学園、まつやま保育園、若狭こども園、天妃のびのび児童クラブ、若狭児童館ハッピーステップ、銘苅シャイニングキッズ、若狭ちむどん太鼓、那覇青少年舞台プログラム、ハワイアンズワカサ、上山中ダンス同好会、若狭地域婦人部、指笛王国おきなわ、沖縄ネパール友好協会、玉城節子琉舞道場、わかさ百寿会、若狭松山旗頭実行委員会、若狭島うたの会
物販バザー	4団体出店（松山保育園保護者会、みみの木、不登校親の会めぶき、MIKOTO'S ROOM）
飲食エリア	4団体出店（若狭小PTA、若狭マリナーズ、若勝V.B.、地球ハートクラブ）
こども広場	アート部出店、駄菓子屋、ヤギコーナー、くじ引き、的あてゲーム、大型遊具りゅうちゃんふわふわ



【参加者の声】

- ・雨にも関わらず、たくさんの来場者がいてよかったと思う。雨で演舞ができなかった団体もあったので、そこは残念。次回改善できたらと思う。
- ・出店者の皆さんの元気で楽しい雰囲気がお客さんにも伝わり、いい空気が流れているように感じました。地域の人たちが自ら地域を盛り上げようと、子どもから年配の方まで一生懸命な姿がとても印象的でした。

【まとめ】

4年ぶりに制限を設けない通常開催となった若狭地域文化祭は、近隣地域の各自治会および小・中学校、保育所等地域団体による実行委員会を立ち上げ、地域住民が主体となって企画・運営し、大いに盛り上がる事ができた。当日の天気が不安定だったため開催場所の決定をはじめ、様々な場面で難しい判断が迫られた。地域の恒例イベントとして持続可能性を高めるためにも運営体制や開催方法について再検討したい。

〔１〕 地域連携事業

CGG 年末美化清掃プラスONE

趣 旨：なは教育の日関連イベントとして、自治会、婦人会、小中高生、PTA関係者、NPO、公民館利用団体及び各機関が一体となって若狭地域にある公園、道路、地域の清掃を実施する。また、清掃終了後にはプラスONE活動として地域と若狭児童館によるふるまいなべ（豚汁）を食べて、参加者同士の交流を深める。

期 日：令和5年12月17日（日）

時 間：9：30～12：30

場 所：波の上ビーチ、若狭海浜公園、若狭公園、若狭地域

対 象：若狭小学校地区の保育園・幼稚園・小・中・高校生、自治会、婦人会、老人会、PTA関係者など

受 講 料：無料

定 員：なし

申込人数：200人（うち受講決定人数200人）

参加人数：200人

参加団体：波の上みそら公園／若狭1丁目自治会／若狭2丁目自治会／若狭めもと自治会／若狭市営住宅自治会
若狭小学校区まちづくり協議会／若狭公民館利用団体連絡協議会／那覇中学校／若狭小学校／若狭こども園、ほか

★★ 学習プログラム ★★

	時 間	内 容	詳 細	参加人数
1	9：30 ～11：00	地域清掃	開会式、地域の清掃 (波の上ビーチ、若狭海浜公園、若狭公園、等)	200人
2	11：00 ～12：00	シンメナービ 交流会	シンメナービによる豚汁・おにぎりを食べながら交流会（若狭小学校裏門）	



【まとめ】

約4年ぶりの開催となった本事業は、各団体が連携し呼びかけを行い、幅広い世代200名の方が参加した。今年度は、若狭小学校区まちづくり協議会が主催となり、前もって地域の方と話し合い、日頃から清掃の手が行き届かない箇所を清掃した。清掃終了後は、プラスONE活動として若狭児童館と地域の方が協力して豚汁とおにぎりが振舞われ、参加者同士の交流を深めることができた。本事業を通して、地域住民の世代を越えた交流ができ、目的とする“顔の見える関係づくり”を作る機会ができた。

〔1〕 地域連携事業

新春もちつき大会

趣 旨：地域の皆さまの健康と子ども達の健やかな成長を願い、餅をついて新年を祝う。また、地域住民の交流と親睦を深め、豊かな潤いのある地域づくりをはかることを目的とする。

期 日：令和6年1月6日（土）

時 間：10:00～12:00

場 所：若狭公民館玄関前 対 象：地域住民 受講料：無料 参加人数：300人

主 催：若狭小学校区まちづくり協議会、若狭公民館

共 催：若狭公民館利用団体連絡協議会、NPO法人地域サポートわかさ

協 力：若狭・松山旗頭実行員会

★★ 学習プログラム ★★

司会：若狭ちむどんどん太鼓

■開会の挨拶（若狭公民館館長 宮城潤）

■主催者挨拶（若狭小学校区まちづくり協議会 会長 伊地柴基）

■激励の言葉（若狭小学校校長・那覇中学校区青少年健全育成協議会）

■オープニング 旗頭演舞（若狭・松山旗頭実行委員会）

お正月の歌「一月一日」 合奏と獅子舞（あゆみ幼児学園）

子どもエイサー（若狭ちむどんどん太鼓）

獅子舞（波上宮獅子舞保存会）

■つき始め式 つき始め（各自治会会長および関係者）

■餅つき体験と振る舞い餅



【参加者の声】

- ・ひさしぶりに餅つきができてよかった。
- ・つきたての餅が美味しかった。もっと食べたかった。
- ・旗頭とエイサーの演舞や、迫力のある獅子舞の演舞に感動した。

【まとめ】

自治会や若狭公民館利用団体、地域団体が協力して、賑やかな会を開催することができた。若狭・松山旗頭実行委員会は、演舞だけでなく、もちつきの際のサポート、能登半島地震の支援金集めなど、主体的に活動する姿が見られた。新成人の皆さんも会場整備を積極的に手伝ってくれ、多世代が交流し、地域の方と新年のひと時を過ごすことができた。

〔1〕 地域連携事業

リッカ！ヤールーキャラバン！ In 曙公園

趣 旨：曙小学校区まちづくり協議会と共催して防災イベントを実施。防災・減災に役立つ知識はもちろん、いざという時の応急手当方法などを楽しく学びながら、世代間交流や曙地域の人的交流も期待できる。防災イベントを体験してもらうことで、子どもたちが楽しみながら、防災を学ぶ機会を提供し、地域防災力の向上を目指す。

期 日：令和5年1月14日（日）

時 間：10：00～11：30

場 所：あけぼの公園

対 象：どなたでも

受講料：無料

定 員：なし

申込人数：25人（うち受講決定人数25人）

参加人数：25人

主 催：曙小学校区まちづくり協議会

★★ 学習プログラム ★★

防災体操／対決！バケツリレー／応急手当ワークショップ／毛布で担架タイムトライアル／家具転倒防止ワークショップ／防災カフェプラットアンケートブース



【まとめ】

曙小学校区まちづくり協議会と共催して行われた防災イベントは、防災・減災に関する知識を学ぶだけでなく、効果的な応急手当や家具転倒防止の方法などを楽しく学ぶ機会を提供することができた。児童が楽しみながら防災を学び、地域防災力の向上にも繋がった。曙地域住民の交流も盛んに行われ、地域の結束力も高まり、ボランティアスタッフの皆さんに支えられ、スムーズな進行が実現した。今後も地域主体の開催を続け、毎年の恒例行事として定着させていきたい。

〔１〕 地域連携事業

なは防災キャンプ '23 春（那覇市立曙小学校）

趣 旨：収容避難所に指定されている曙小学校を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。テント泊を通して避難生活を体験することで、もしもの時に活用できるノウハウを身につける。また、曙小学校区まちづくり協議会が作成した防災マップを参考に危険箇所などを辿りながら災害時に必要な避難所や避難経路学ぶ機会とする。様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 日：令和5年4月22日（土）～ 4月23日（日）

時 間：学習プログラム参照

場 所：那覇市立曙小学校

対 象：那覇市在住・在学・在勤及び関心のある人 受 講 料：無料 定 員：50名

申込人数：44人（うち受講決定人数44人）

参加人数：50人（うち宿泊者32人）

共 催：（一社）災害プラットフォームおきなわ/ 曙小学校区まちづくり協議会/那覇市立曙小学校
那覇市社会福祉協議会

協 力：一般社団法人HDC人も犬も猫も幸せなまち創り隊 O k i n a w a

★★ 学習プログラム ★★

期日	時間	内容	人数
4月22日（土）	16:00～18:00	防災さんぽ ガイド：稲垣暁（災害ソーシャルワーカー）	30人
	18:00～19:00	避難所ワークショップ/ダンボールワークショップ	30人
	19:00～21:00	テント設営/防災紙芝居/炊き出し体験/持ち出し品シェア	32人
4月23日（日）	8:00～10:00	朝食/振り返り	32人



【参加者の声】

- ・経験が足りていないので、防災キャンプをもっと行って理解度を深めて、活かしていきたい
- ・地域を歩き、災害リスクに気付けた。子どもや高齢者を含めた場所作りは話し合い・認め合いが大切
- ・常に日頃から防災について考えた上で個人的な「用意」をしておく必要だと痛感した。

【まとめ】

那覇市立曙小学校体育館を会場に1泊2日の宿泊を通して、避難所運営のやり方を参加者で考え実際に宿泊場所や体育館の消灯時間などを決定し、実行した。防災さんぽでは、曙小学校区まちづくり協議会が作成した防災マップを活用し、地域にある資源や課題を防災の専門家のアドバイスをもらい参加者と情報を共有した。参加者が避難所について考え、話し合い、情報を共有しながら、理想の避難所の作り方を学んだ宿泊講座となった。この事業をモデルとして、那覇市内外で学校を活用した防災キャンプを企画しようと動く団体・参加者も多く、波及効果がある事業となった。

〔1〕地域連携事業

なは防災キャンプ '23 夏（新都心銘苅市営住宅）

趣 旨：高台の高層住宅地として災害時の資源活用や地域課題が多くある新都心銘苅市営住宅を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。新都心銘苅にじいろ会と連携しながら、子どもたちとテント泊を通して避難生活を体験することで、もしもの時に活用できるノウハウを身につける。様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 日：令和5年8月25日（金）～26日（土）

時 間：学習プログラム参照

場 所：新都心銘苅市営住宅 中庭

対 象：那覇市在住・在学・在勤及び関心のある人

受 講 料：無料

定 員：20組 申込人数：20人（うち受講決定人数20人） 参加人数：50人（うち宿泊者14人）

主 催：新都心銘苅にじいろ会 / 那覇市若狭公民館

共 催：那覇市防災危機管理課 / 災害プラットフォームおきなわ / 那覇市社会福祉協議会 / 新都心銘苅市営住宅自治会

協 力：那覇市地域包括支援センター 新都心

★★ 学習プログラム ★★

期日	時間	内容	人数
8月25日（金）	16:00～18:00	防災さんぽ ガイド：稲垣暁（災害ソーシャルワーカー）	17人
	18:00～19:00	焚き火ワークショップ/流しそうめん防災紙芝居／	30人
	19:00～21:00	テント設営／持ち出し品シェア	14人
8月26日（土）	8:00～10:00	朝食/振り返り	14人



【参加者の声】

- ・キャンプ泊は4回目になりますが、毎回違うので持ち物など考えさせられた。
- ・子どもたちが防災に対し不安だけでなく与えられた環境下で楽しみも見出せ生きていく術を学べた。
- ・子供も含め大人も防災意識を高めることが出来た。

【まとめ】

新都心銘苅市営住宅を会場に1泊2日の宿泊を通して、銘苅新都心地域や市営住宅住民の連携を強化することができた。参加者と共に新都心公園の備蓄倉庫や市営住宅周辺を散策し、災害時の市営住宅の資源や課題について考え、話し合い、情報を共有した。夏休み中の子どもたちの思い出作りのために地域や自治会が協力してイベントを行うことができた。今後は新都心銘苅地域で住民主体の防災キャンプが企画されており、波及効果が期待できる事業となった。

〔１〕地域連携事業

なは防災キャンプ '23 秋（那覇市立天妃小学校）

趣 旨：那覇市総合防災訓練の一環として、指定避難所の天妃小学校を会場に、1泊2日の防災キャンプを実施。天妃小学校区まちづくり協議会をはじめ、那覇市防災危機管理課や（一社）災害プラットフォームおきなわと協働して企画・運営することで、より実践的な学びの機会とする。避難経路の確認や避難所開設運営訓練を盛り込んだ模擬避難所体験を通して、もしもの時に活用できるノウハウを身につけると同時に、様々な個人・機関との連携を通し、継続的に機能する災害時プラットフォームの形成を促進する。

期 日：令和5年11月2日（木）～3日（金） 時 間：学習プログラム参照

場 所：那覇市立天妃小学校 体育館 対 象：那覇市在住・在勤・在学及び関心のある人

受 講 料：無料 定 員：20組 申込人数：17人（うち受講決定人数17人）

参加人数：53人（うち宿泊者23人）

主 催：天妃小学校区まちづくり協議会、那覇市若狭公民館

共 催：（一社）災害プラットフォームおきなわ、那覇市立天妃小学校、那覇市社会福祉協議会

協 力：一般社団法人HDC 人も犬も猫も幸せなまち創り隊 Okinawa

★★ 学習プログラム ★★

期日	時間	内容	人数
11月2日 (木)	16:00～18:00	防災さんぽ ガイド：稲垣暁（災害ソーシャルワーカー）	15人
	18:00～19:00	模擬避難所開設運営訓練（那覇市防災危機管理課）	30人
	19:00～21:00	テント設営／防災紙芝居／炊き出し体験／持ち出し品シェア	25人
11月3日 (金)	8:00～10:00	防災×演劇ワークショップ ファシリテーター：TEAM SPOT JUNBLE	40人



【参加者の声】

- ・はじめましての方々と協力しながら 色々と決めていく事や発言する事の大切さを学びました。
- ・演劇ワークショップではおなじシナリオでも十人十色で表現が違って見えるのが勉強になりました。

【まとめ】

天妃小学校周辺は、路地が狭く古い建物が多い、避難場所が分かりづらいなど、避難者や緊急車両、支援物資の経路に課題があることがわかった。また、那覇市防災危機管理課が試作した「避難所開設セット」を使用して、住民が主体となる避難所運営の検証を行ったが、負担が1人に偏ったり情報共有がうまくいかなかったりと様々な課題が見えてきた。有事の際、円滑に避難所開設及び運営できるようになるためにも、継続的に練習や研修を行う必要性を感じた。防災×演劇ワークショップでは、実際に演技し体験するロールプレイによって医療的ケア児（者）について理解を深めると同時に、避難所生活の難しさを知ることができた。様々な機関、団体との協働の取り組みは、地域防災の関係構築の契機となった。

〔１〕地域連携事業

なは防災キャンプ '24 冬（なは市民協働プラザ）

趣 旨：那覇市の指定避難所であるなは市民協働プラザにおいて、災害時に必要な準備と対処法を身につけるためのプログラムを企画。イザ！という際に避難所生活や停電、断水などの困難な状況に対し、平時からの備えの重要性を啓発することを目的とする。1泊2日の防災キャンプを通じて、参加者が災害時に必要なノウハウや課題解決のスキルを身につける。また、地域の小学校や地域住民との協力を得て、災害時の避難所運営や避難経路について学ぶ機会も設ける。様々な個人や機関との連携を通じて、災害時のプラットフォームを継続的に機能させるための取り組みを促進する。

期 日：令和6年3月19日（火）～ 3月20日（水）

時 間：学習プログラム参照

場 所：なは市民協働プラザ

対 象：那覇市在住・在学・在勤及び関心のある人 受 講 料：無料 定 員：20組

申込人数：38人（うち受講決定人数32人）

参加人数：48人（うち宿泊者25人）

共 催：那覇市防災危機管理課 / 那覇市まちづくり協働推進課/

那覇市銘苅小学校区まちづくり協議会/（一社）災害プラットフォームおきなわ / 那覇市社会福祉協議会

協 力：一般社団法人HDC 人も犬も猫も幸せなまち創り隊 Okinawa / 那覇市地域包括支援センター新都心 新都心銘苅市営住宅にじいる会

★★ 学習プログラム ★★

期日	時間	内容	人数
3月19日（火）	18:00-19:00	避難所開設体験 テントや受付	48人
	19:00-20:00	炊き出しご飯	
	21:00-22:00	能登半島地震被災地支援報告	
3月20日（水）	7:00-12:00	振り返り/防災さんぽ/グループワーク	25人



【参加者の声】

- ・能登半島の方々の現状は考えさせられました。他力ではなく自力が周りのためにもなる自己完結の大切さを知りました。
- ・普段から顔の見える関係を作るための定期的な場を設ける必要があると感じた。

【まとめ】

災害時の減災や避難所運営などの協力体制について参加者とともに考えることができた。炊き出し訓練の沖縄そば提供は地域住民主体で行うことができた。能登半島地震支援活動の報告なども行い、生の状況を聞く機会を設けることで、避難所生活の困難な状況に直面した際の対応について、地域の小学校区まちづくり協議会をはじめとする地域住民が共に理解を深めることができた。

〔２〕 提案事業

アート部2023

趣 旨：若狭公民館近隣の中学校２校は、美術部がないため自己実現や表現活動の場が少ない状況である。
そこで、中学校２校と協働し、美術部の活動を若狭公民館で行うことで地域における持続可能な文化活動のための環境をつくる。

期 間：令和５年４月２５日（火）～ 令和６年３月２９日（木）全１４０回

時 間：毎週火・水・木曜日 １６：００～１８：００（祝祭日は休み）

場 所：若狭公民館研修室、美術館、周辺地域など

対 象：那覇市在住、在学のアート好きな中学生

参加延べ人数：６４４人

受講料：無料

協 力：那覇市立那覇中学校、那覇市立上山中学校

★★ 学習プログラム ★★

月	内容	人	月	内容	人
４月	作品制作、おでかけアート部（上山中・那覇中）	４３人	１０月	作品制作、若狭地域文化祭出店準備	５６人
５月	作品制作、サンドアート、交流会	１１０人	１１月	作品制作、若狭地域文化祭出店	４７人
６月	作品制作、巨大迷路&お化け屋敷準備	１０９人	１２月	作品制作、交流会	２９人
７月	作品制作、巨大迷路&お化け屋敷準備	７０人	１月	作品制作	２２人
８月	作品制作、巨大迷路&お化け屋敷	２３人	２月	作品制作	４３人
９月	作品制作、若狭地域文化祭子ども実行委員会参加	６０人	３月	作品制作、おでかけアート部（おきみゅー）	３２人



【参加者の声】

- ・お化け屋敷作りが特に印象に残った。（生徒）
- ・業務過多のため地域で部活動を担ってもらうのは有り難い。（教員）

【まとめ】

楽しく安心してアート活動ができる居場所を目指し、生徒たち一人一人が自立した取り組みを行えるように促した。児童館で行われたお化け屋敷や、若狭地域文化祭などの地域の催しに、自主的に参加する姿がみられた。また、マインドマップの制作やお楽しみ会を通して、交流が生まれていた。

来年度は、作品制作を行いながら、自身の表現方法を編み出していけるようサポートを行う。また、地域イベントへ作品発表を行い、発信する力も養えるようきっかけを作る。

〔2〕 提案事業

多文化カフェ・わかさ

趣 旨：ひきこもり支援のNPOと連携して行う若者の夜の居場所。外国にルーツのある方が安心して過ごせ、友人関係を構築し、地域で生活しやすくなることを目的とする。

期 間：令和5年7月20日（木）～ 令和6年3月28日（木）全35回

時 間：毎週木曜日 17:00～22:00（3月からは18:30～20:30）

場 所：若狭公民館第2研修室

対 象：外国にルーツのある方

参加延べ人数：358人

受講料：無料

共 催：NPO法人ちゅらゆい（3月からは独自の活動として継続）

協 力：多文化ネットワーク fu ふ！沖縄、株式会社DREAM CONNECT

（一般）観光危機管理研究所、JICA 沖縄、沖縄ネパール友好協会

★★ 学習プログラム ★★

月	回数	内容	参加者のルーツ	参加人数
7月	2	対話	ベトナム	8人
8月	5	対話、多文化クッキング （ベトナム料理）	ベトナム、インド、スペイン、ネパール、台湾	47人
9月	4	対話、多文化クッキング （たこ焼き）、※ユーチュー一部	中国、ネパール、台湾	40人
10月	4	※ユーチュー一部 in 多文化 カフェ参照	ネパール、台湾	74人
11月	4	対話	スペイン、ネパール、台湾、アメリカ、カナダ	37人
12月	3	対話、多文化クッキング （沖縄）	スペイン、ネパール、台湾、アメリカ、カナダ、キューバ、韓国、インド	37人
1月	4	対話	スペイン、ネパール、台湾、アメリカ、キューバ、スリランカ、ベトナム	35人
2月	5	対話	スペイン、ネパール、台湾、アメリカ、フランス、中国、ベトナム	39人
3月	4	対話	スペイン、ネパール、台湾、アメリカ、韓国、トルコ	41人



【参加者の声】

- ・いろいろな繋がりができて、活動が広がっている。とても感謝している。（スペイン人）
- ・ここに来ると国際交流ができて楽しい！すごくいい取り組み（日本人）
- ・たくさんの言語がある。ここはとてもいい。（トルコ人）

【まとめ】

活動をはじめ、想像以上にさまざまな国の方が沖縄で暮らしていること、そして交流できる場が必要とされていることがわかった。異なった文化・言語・背景を持つ人が集まり、対話をしながら異文化交流を行っている。公民館内で行われている他の自主サークルや、中学生の部活動「アート部」、ロビー利用の子どもたちなど、他の活動と相互に交流しながら公民館全体をゆるやかにつながる場となっている。

〔2〕 提案事業

無料英会話教室「ELIPO」

趣 旨：若狭公民館で10年以上の活動経験を持つ ELIPO は、困窮家庭の子どもたちへゲームやアクティビティを通して、質の高い英会話教育を無償で提供しており、保護者との信頼関係を築きながら活動している。英会話を通して多様な大人と出会い、将来への指針を得ることができるきっかけづくりを目的とする。

期 間：令和5年4月2日（土）～令和6年3月25日（土） 毎週土曜日（全50回）

時 間：10：00～12：00

場 所：若狭公民館 第2研修室

対 象：就学援助受給世帯及びひとり親世帯の小中学生

受講料：無料

定 員：なし 申込人数：なし 参加延べ人数：241人

講 師：川畑 彩（NPO 法人 ELIPO 代表）

★★ 学習プログラム ★★

「Gamification」と呼ばれる教育法でゲームを取り入れたりハロウィンやクリスマスイベント連動させたりしながら楽しくリラックスしながら英会話を学ぶ



【まとめ】

ELIPO（エリポ）は、English Language Immersion Program in Okinawa（イングリッシュ ラングエッジ イマージョン プログラム イン オキナワ）の頭文字を取って命名されたNPO法人で、この事業はNPO法人ELIPOの提案で生まれた。代表の川畑氏は「沖縄の将来を担う子どもたちに対して、自分が貢献できることをしたい」と、この事業のアイディアを持っていたが、なかなか実現に向けての具体的な方策が得られず、若狭公民館に相談にきたことで、実現するに至った。当初は、受講生も少なかったが、だんだん周知されるようになり、回を追うごとに増えている。はじめはおとなしかった子どもたちもだんだん大きな声で受け応えるようになり、徐々に自信をつけていることがわかる。また保護者からも好評で事業を継続して実施する。この事業を通して、ハロウィンパーティーやクリスマスイベントを通して楽しく英語学習や異国文化を学ぶ機会を提供している。

〔2〕提案事業

一品持ち寄り「朝食会」

趣 旨：平成19年度の青年の講座・交流事業参加者からの提案で始まったおかず一品持ち寄り「朝食会」は、毎月一回の開催で190回を超えている。地域住民の主体性を生かしながら、多様な人が参加できる“ゆるい”雰囲気のもと食を囲み、地域情報の交換、多世代交流を創出する。

期 間：令和5年4月22日（土）～令和6年3月31日（土）（全11回）

時 間：8：30～10：30

場 所：那覇市若狭公民館 実習室、松山公園、ほか

対 象：那覇市在住・在勤・在学の方、関心のある方 受講料：無料（但し材料費実費として100円徴収）

定 員：なし

参加延べ人数：102人

★★学習プログラム★★

回	日 時	会 場	人数	回	日 時	会 場	人数
1	4月22日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	6人	7	11月25日（日）	「リモートこうみんかん」タイアップ	10人
2	6月24日（土）	ファストフード店（出張朝食会）	6人	8	12月23日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	8人
3	7月29日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	8人	9	1月27日（土）	「AMMA モーニング」タイアップ	7人
4	8月20日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	7人	10	2月24日（土）	「AMMA モーニング」タイアップ@松山公園	22人
5	9月27日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	8人	11	3月31日（日）	「AMMA モーニング」タイアップ	15人
6	10月28日（土）	お粥・おかず一品持ち寄り	5人				



【参加者の声】

- ・沖縄の朝食を一緒にいただく活動には感動しました。これまでお茶を飲みながら話をする会を試みても、いろんな事情で会が尻すぼみしてきました。長く続けられていることにエールを送ります。
- ・AMMA の防災食のアレンジレシピ開発が興味深く、留学生との交流もできて楽しいです。

【まとめ】

今年度は、広島市の公民館主事等が企画するオンライン交流企画『リモートこうみんかん』や食を通じた交流で在沖ネパール人の防災力向上を目指す「チームAMMA」の『AMMA モーニング』と連携開催するなど他機関・団体との連携により多様な住民の参加があった。特に『AMMA モーニング』との連携では、ネパール人留学生が多く参加し、防災意識啓発につなげるなど有意義な場となった。

〔２〕 提案事業

公共施設管理団体等が実施する子どもの居場所運営事業

趣 旨：那覇市保護管理課の補助事業として若狭児童館と連携し、公民館と児童館それぞれの特性や強みを活かした子どもの居場所を提供する。公民館では、文化的な体験活動を通して自己肯定感や自己有用感を育む。また、これまで培ってきたネットワークを活かした地域資源の活用と学校をはじめとする関係機関との連携により、包括的に見守り支援する。

期 日：令和５年４月～令和６年３月

時 間：学習プログラム参照

場 所：学習プログラム参照

対 象：学習プログラム参照

受講料：なし

定 員：なし 申込人数：なし 参加延べ人数：２８５５人（■印は別紙にて報告済みのため除外）

★★ 学習プログラム ★★

活動名	時間	対象	場所	活動内容	人数
アートな部活動■	毎週火・水・木 １６時～１８時	中学生	第２研修室	絵画・工作	６４４人
若狭ちむどンドン太鼓■	毎週月 or 火・金 １７時～１８時	小・中学生	第１研修室 ホール	創作エイサー	８１６人
ELIPO■	毎週土曜日 １０時～１２時	ひとり親、 就学援助世帯	第２研修室	英会話	２４１人
ジュニアジャズ オーケストラおきなわ	毎週木 １６時半～１８時半 毎週日 １４時～１６時	小学生	ホール	ジャズの演奏 音楽を通じた 居場所づくり	７１２人
ロビー利用	随時	どなたでも	ロビー	勉強・会話	３５９人
卓球	随時	どなたでも	第１研修室	卓球	８３人



【まとめ】

異年齢、多様な世代とのコミュニケーションをとり、地域の大人に見守られることで自己有用感・肯定感を育んだ。また、２ヶ月に一度、連携する学校、行政関係各課、社会福祉協議会、学習支援アドバイザーと共に地域連携会議を行い、情報共有することで、地域全体で子どもの安心できる居場所となるように意識した。

〔2〕 提案事業

ナジャさんとの歌とダンスのワークショップ

趣 旨：世界にはさまざまな生活や文化を持つ多様な人々が暮らしているが、遠い異国のことは自分ごととして捉えづらい。日常生活を送る学校の授業で異文化体験をすることで、世界は広く多様な人があることを知る機会とする。また、紛争後も避難生活を送る人が多いモザンビークの子どもたちの生活の話を聞くことで、平和について考えるきっかけとする。

期 日：令和5年7月18日（火）

時 間：学習プログラム参照

場 所：若狭公民館第1研修室 対 象：若狭小学校児童

受講料：無料 定 員：なし 申込人数：216人（うち受講決定人数216人）

参加延べ人数：216人

講 師：ナジャ（ミュージシャン）、榎本 恵（モザンビークの命をつなぐ会）

翁長 巳酉（美栄橋235企画）

★★ 学習プログラム ★★

時間割	実施時間	内 容	対象
1	8:40～ 9:25	・モザンビークについての講話	5年生
2	9:35～10:20	アフリカの基礎情報 / 民俗文化 / 生活 / 紛争の話 寺子屋の話	1・3年生
3	10:30～11:20		2・3年生
4	11:30～12:45	・アフリカのマコンデ族のリズム体験、ダンス、歌 ・質疑応答	6年生



【参加者の声】

- ・ダンスが楽しかった。
- ・サルの歌を歌うのが、おもしろかった。
- ・アフリカはとっても大きな国でたくさんの人が住んでいることがわかりました。
- ・お腹をすかせて寺子屋に来る子どもがいることがわかりました。

【まとめ】

モザンビークという国がどこにあって、どんな人が暮らしているのか、生活や文化についての講話、歌や踊りの披露と体験を行った。低学年には音楽とダンスを中心に楽しく、高学年には講話を多めに文化への理解を深めた。学校の授業で異文化体験をすることで、世界には多様な人があることを生活の中で感じることもできた。モザンビークで暮らす同世代の子どもたちが、現在も避難所で暮らし、お腹をすかせて寺子屋に通う話などを聞き、自分たちの恵まれた環境を知る機会となった。

7 公民館まつり

第31回 若狭公民館まつり

趣 旨：若狭公民館で活動している団体（サークル）の活動成果を発表・展示することにより、団体の学習活動継続への刺激を与え、団体（サークル）相互の連携を深める。

期 間：令和6年2月10日（土）、17日（土）、18日（日）

時 間：学習プログラム参照

場 所：那覇市若狭公民館

対 象：全般 受講料：無料 定員：なし 参加延べ人数：1640人

主 催：若狭公民館利用団体連絡協議会

共 催：若狭公民館・若狭図書館・NPO法人地域サポートわかさ

協 力：医療法人陽心会・若狭児童館・沖縄ネパール友好協会・公益財団法人対馬丸記念会

★★ プログラム ★★

内 容	期 日	時 間	会 場	参加人数
社交ダンスパーティー	10日（土）	18：30～21：00	ホール	80人
オープニング	17日（土）	9：30～10：00	公民館前道路	150人
バザー	17日（土）	オープニング終了後	玄関前	120人
えほんでかるた	17日（土）	10：30～11：30	ホール	15人
展示発表	17日（土） 18日（日）	10：00～16：00 10：00～15：30	第1研修室 第2研修室	200人
舞台発表	17日（土） 18日（日）	13：30～16：30 13：00～15：30	ホール	500人
出店コーナー	17日（土） 18日（日）	11：00～16：00	玄関前	200人
喫茶コーナー	17日（土） 18日（日）	10：00～16：00 10：00～15：30	2階ロビー	300人



【まとめ】

今年は約4年ぶりに新型コロナウイルスによる制限なしの開催。前夜祭としての社交ダンスパーティーは、若狭公民館内外で活動するダンスサークル愛好家が集まり、華やかな雰囲気の中で楽しく踊ることができた。舞台発表や展示発表、さらには出店や喫茶コーナーなど、様々な企画があり、多くの来場者で賑わった。サークルの日頃の活動成果を発表する機会としての舞台も展示もたくさんの利用者・利用団体の方が参加して交流を深めることができた。

公民館まつり風景



オープニング



バザー



出店コーナー



バルーン講習会



喫茶コーナー



リサイクル本



展示発表



舞台発表

